

【交通安全への祈りを込めて～家庭クラブ・手作りティッシュケース～】

令和5年6月1日



先日、家庭クラブの部員から手作りのティッシュケースをもらいました。そのティッシュケースには「自転車に乗るならば必ず ヘルメット」という交通安全の標語が貼ってありました。そういった交通安全の標語付きの手作りティッシュケースを5月11日に家庭クラブのメンバーが洲本実業の先生全

員に配ってくれました。この取組みは、交通安全協会、洲本高校と一緒に交通安全への啓発として行っているそうです。本来なら5月19日に洲本のイオンで一般の市民に配布する予定でしたが、残念ながら雨で秋に延期になってしまいました。

家庭クラブ部長の C3A 米澤うきわさんと、副部長の C3A 田路 知佳さんにこの活動について話を聞きました。このティッシュケースは家庭クラブの部員全員で手分けをして手作りをしたそうです。先生方にティ



ッシュケースを配る際に「ご協力お願いします。」と声をかけると、先生方は喜んでティッシュケースをもらってくれたそうです。私ももらいましたが、「交通安全には気をつけないといけないなあ。」とそのとき改めて思いました。米澤さんと田路さんも車にぶつけられそうになったり、信号無視をしている人を見かけたりと、日頃から交通安全については心配しており、自らも気をつけているとのことでした。先生方や生徒たちもおそらく危ない目に遭ったり、危険な場面を目撃したりしたことがあるのではないのでしょうか。交通事故は重大な結果をもたらします。特に、自転車の事故は多発しており、死亡事故も少なくありません。英語のことわざで「You cannot be too careful.」（いくら気をつけても過ぎることはない）というものがあります（一応英語教師なので...）。交通安全に関してはまさにその通りですね。

家庭クラブの活動が実を結んで交通安全が保たれますように。